

第1章 地方拠点都市地域に関する事項

1. 地方拠点都市地域の名称

「大崎地方拠点都市地域」

2. 中心都市名

「大崎市」

3. 地方拠点都市地域の構成と概要

市町名	面積 (Km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
大崎市	796.76	138,491	44,615
色麻町	109.23	7,856	1,881
加美町	460.82	27,212	7,765
涌谷町	82.08	18,410	5,495
美里町	75.06	26,329	7,963
合計	1,523.95	218,298	67,719

※面積、人口及び世帯数は平成17年国勢調査結果

大崎地域は、宮城県の北西部に位置し、南は仙台都市圏、東は石巻地方拠点都市地域、北は栗原市・登米市、西は山形県にそれぞれ接している。大崎市、加美郡（色麻町、加美町）、遠田郡（涌谷町、美里町）の1市4町で構成され、平成17年現在、人口218,298人、総面積1,523.95Km²である。

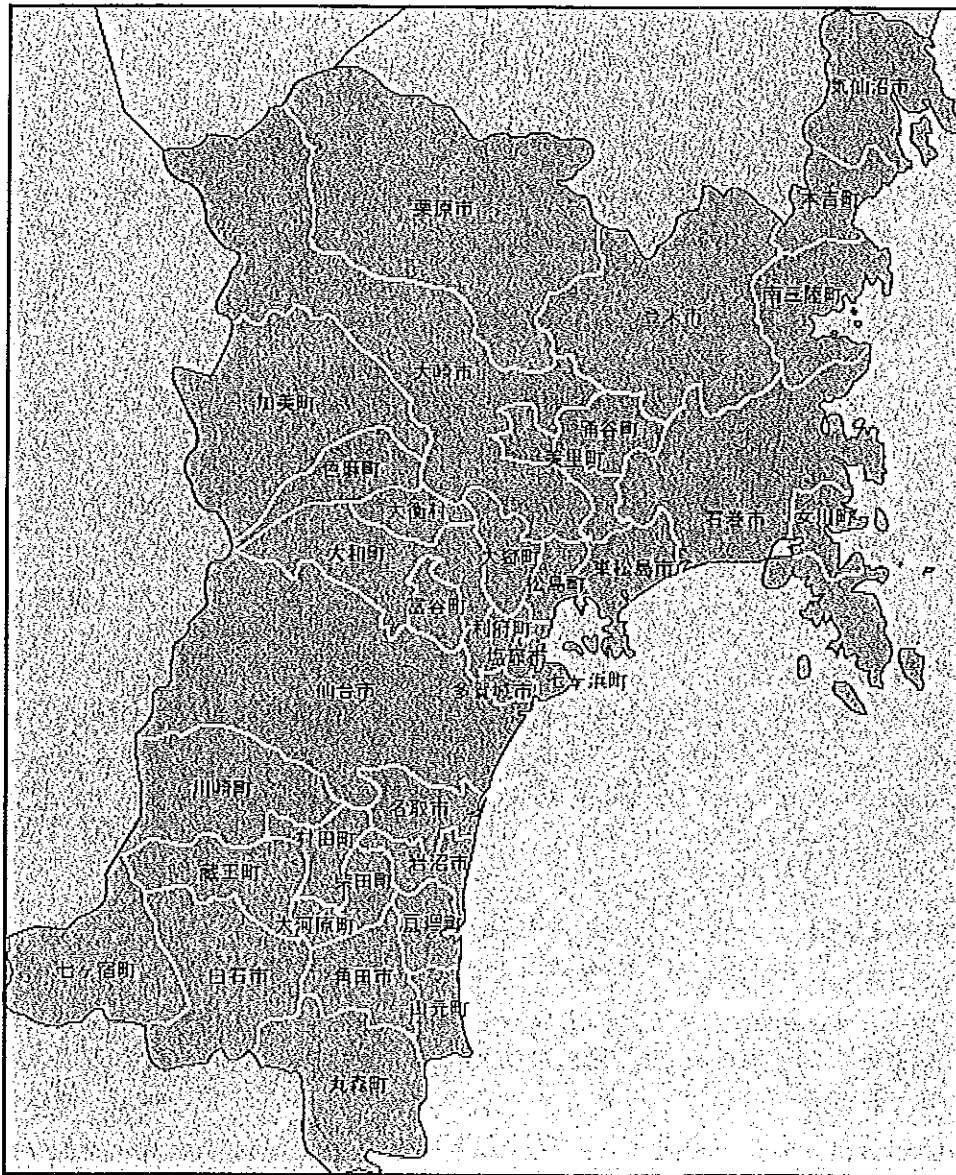
地形については、東西に約80kmの長さを持ち、西の奥羽山脈から東に向かって次第に傾斜する丘陵地と広大な平野からなる自然豊かな地域である。奥羽山脈から江合川と鳴瀬川の豊かな流れによって形成された、広大で肥沃な平野は「大崎耕土」と呼ばれ、「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの米を主体とした全国有数の穀倉地帯を形成している。その土地利用については、農地や森林が8割を占めているが、近年、農林業的土地利用から宅地や道路等の都市的土地利用への転換が進んできている。気候は、内陸性気候で、東部から中央部にかけては、海洋の影響や季節風の影響が少なく、年平均気温は11℃程度で比較的温暖な気候である。西部は、東部・中央部と比べ、年平均気温が低く、降雪量も多い。また、豪雪地帯に指定されている地区もある。

産業については、古くから稲作を主体とした農業を基幹産業に、地理的条件を活用した工業・商業・サービス業、また、長い歴史のなかで培われてきた伝統文化や四季彩豊かな地域資源による観光業といった、バランスのとれた産業が展開されている。

交通については、古くから街道の交差する交通の結節地域であり、東北自動車道や国道4号・47号・108号・346号・347号・457号や県道といった主要道路、また東北新幹線やJR東北本線・陸羽東線・石巻線・気仙沼線などの鉄道により、本地域内及び

仙台都市圏，石巻地方拠点都市圏，栗原市，登米市，山形県と連携し，本地域の産業経済や文化及び生活等の交流の中心的なネットワークを形成している。

□図1 大崎地方拠点都市地域位置図



4. 将来像

(1) 大崎地域の課題

大崎地域は，大崎市古川地域を中心都市に，農業を基幹産業として商業や工業の振興を図ってきた。それぞれの特色を活かしながら一体的な地域振興を推進してきたが，近年の国内外諸情勢の厳しい変化に伴い，地域を牽引する新たな産業の育成や就労環境の整備の遅れにより，魅力ある就業の場や賑わいの場が少ない状況となっている。

宮城県内をみても仙台都市圏への人口と各種機能の集中，それ以外の圏域における人口流出超過や高齢化の急速な進展など，地域間格差の拡大が大きな問題となっている。